

あづか



第4回定例会

「お茶の京都博」事業の一つとして昨年11月から開催された茶畑ビューイング2017でゴルフカートに乗り茶畑風景を満喫し、茶畑ハウス（白栖長井）でふるまわれたお茶を楽しみ、癒やしのひとときを過ごされる観光客の方々

決まったこと	29年度補正予算・条例改正他	>>> P.2
主な質疑	29年度補正予算	>>> P.4
一般質問	3人が町政を問う	>>> P.5
委員会報告	総務厚生・産業他	>>> P.9
まちの元気	農家民宿「はがくれ」	>>> P.12

災害復旧事業に8805万円を追加 国の交付金大幅減額により インフラ整備遅れる

平成29年度
補正予算

12月定例
議会では
(12月12日開会
22日閉会)

第4回定例会は、12月12日から22日まで本会議場にて開かれました。町長提出の一般会計補正予算3件(専決2件を含む)・特別会計補正予算2件、条例改正3件などが審議され、採決の結果、議案は全て可決されました。

平成29年度一般会計
補正予算は2500万
円追加し、32億563
6万8000円に

今回の補正では、国の交付金が大幅減額となり、新設道路などに使う予算が1億円のマイナスとなりました。一方、10月に発生した台風被害等により災害復旧費として8805万3000円や産地パワーアップ事業、地方創生推進交付金事業などを追加しました。

和東茶カフェ周辺を
「お茶の駅」として大規
模拠点化へ

平成36年の犬打峠トンネル化を見すえ、周辺地域活性化の為、グリーンティ和東の下水道化を中心とする改修設計費用として300万円を追加する。茶業の関係

では、グリーンハザマ(町立製茶工場)の製茶機械更新に784万円を追加しました。

待たれる空き家バンク

移住対策の受け皿となる空き家バンク開設業務委託料として6万円が、また町民への周知の為の需用費として9万円が追加されました。

補正による主な事業

- ▽海洋センターのプール配管修理 100万円
- ▽地域力推進協議会負担金 330万円
- ▽京都府知事選挙費 261万5000円
- ▽介護保険事業勘定繰出金 276万2000円
- ▽松くい虫防除委託料 196万8000円

▽産地パワーアップ事業補助金 761万5000円

▽「お茶の駅和東」調査設計業務委託料 300万円

▽農業用施設・農地災害復旧工事費 3595万7000円

▽道路橋りょう・河川災害復旧工事費 5209万6000円

この他、専決補正として10月22日執行の衆議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の為の委託金として703万5000円追加(4号専決)と同日発生した台風21号に伴う町道等における応急災害工事並びに測量設計業務費1438万5000円追加(5号専決)しました。

特別会計補正

介護保険特別会計

居宅介護・介護予防サービスにかかる給付金等2134万円を追加しました。
後期高齢者医療特別会計
後期高齢者医療広域連合納付金57万円を追加しました。

条例改正等

和東町体験交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

第1条の設置目的と第3条の事業項目に、テレワーク等情報通信技術を活用した仕事づくりによる移住促進及び地域経済の活性化を推進する事業が加えられました。

特別職の職員で常勤のもの
の給与及び旅費に関する条
例の一部改正

平成29年12月期末手当支
給率を0.05月分引き上
げなど

和東町職員の給与に関する
条例の一部改正

平成29年12月勤勉手当支
給率を0.1月分引き上げ
など

簡易水道統合事業中央浄水
場水処理設備、監視制御工
事請負契約の変更の件

中央浄水場の通信及び水
処理設備変更工事で870
万円の追加

土地改良事業の施行につい
て

台風被害を受けられた農
業用水路1件、農地4件、
農業用施設・道路3件につ
いて復旧を行う。

意見書

第4回定例会（12月）に次のとおり意見書が提出さ
れました。

介護保険制度の改悪に反対し、抜本的改善を求める意
見書

否決

提案者 岡本正意 議員

賛成者 1人

反対者 8人

固定資産評価審査委員会委員の選任について

任期満了に伴い、次の方の委員の選任について、再任
しました。

藤田 勝美氏（大字園）

消防委員会委員の委嘱について

任期満了に伴い、次の方を委員に委嘱しました。

岡田 周一氏（大字別所）

西島 剛氏（大字白栖）

谷本 昌隆氏（大字下島）

田中 清和氏（大字釜塚）

竹内 秀年氏（大字園）

谷村 正己氏（大字原山）

北 昇氏（大字中）

大谷 毅氏（大字湯船）

桧谷 正樹氏（大字湯船）

各議員の賛否

平成29年第4回定例会（12月）に、町長から提案された議案のうち賛
否がわかれたもの。

審議結果	会議区分	議案名	議員名									
			岡田泰正	藤井清隆	村山一彦	吉田哲也	井上武津男	岡本正意	畑 武志	竹内きみ代	小西 啓	岡田 勇
可決	本	和東町体験交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-
可決	本	平成29年度和東町簡易水道統合事業中央浄水場水処理設備・監視制御設備工事請負契約の変更について	○	○	○	○	○	×	○	○	×	-

※会議区分 本は本会議 委は決算特別委員会 ○は賛成 ×は反対 -は採決に加わらない。
岡田勇議長は本会議の採決に加わらない。

補正予算関連

主な質疑

平成29年度補正予算の内容について、土木費や農業振興費、介護保険や空き家バンクなど様々な角度から質疑が行われました。質疑の主な内容を紹介します。

問 土木費当初予算2億400万円が1億円もの減額補正されているがなぜか。

答 従来は特別国会での補正予算にて手当をいただいていたが、今年度は組まなかったのが理由である。

問 このような厳しい予算では和東町のインフラの整備等の計画は変更を強いられるのでは。

答 例年、交付金事業を中心に事業を策定していたが、30年度については交付金事業と補助金事業を混じえて事業実施していきたい。

問 クリーンセンターの稼働停止日が迫ってきているが、一定の方向性を示すべき時期だと思うが。

答 当施設は運営可能な施設であるので、非常に難しい問題ではあるが住民の理解をいただく努力を、さらに進めていきたい。

問 農業振興費で産地パークアップ事業補助金784万円計上されているがどのようなものか。

答 グリーンハザマ（町立製茶工場）が設立21年経過し、老朽化した葉打機と第一粗揉機の入れ替えにとまなうもの。

問 介護保険料が基準額にして月額250円程度値上げの方針を示しているが。

答 居宅に係る介護サービス費用が平均1620万円程度で推移してきたが、直近では1930万円と300万円程度上回ってきている。何とぞご理解いただきたい。

問 空き家バンク開設に向けてスタートするとの事だが、京都宅建協会の役割りは。

答 宅建協会に任せるのは、最終的な契約書の用意とか、専門的な知識のアドバイス、最終段階の事務手続き等です。

問 空き家バンクの窓口は何課になるのか。

答 地域力推進課になっています。

問 お茶の駅和東、調査設計業務委託料300万円計上されているが。

答 お茶の町和東をPRする拠点としてグリンティ和東がありますが、昭和62年

設立で改修の必要が出てきており、水回りを主として改修を行う。将来的には、この地域全体をお茶の駅として、官民協働で盛り上げていきたい。

問 体験交流センターにて情報通信技術を活用した仕事づくりとあるが具体的に

答 サテライトオフィス事業で、インターネット環境を整備して企業誘致を進めるもの。



整備が進む体験交流センター



改修が待たれる海洋センタープール上屋

問 総務一般管理費の修繕費100万円の内訳は。

答 経年劣化による海洋センタープールの配管修理代です。

問 海洋センタープールの上屋修理はできているのか。

答 猿の被害等により非常に甚大な被害を受けている。保険申請等の手続きも進んでいるが、修理においても金額が高額となるので、新年度予算に計上すること進めている。

町政を問う！提案する！ 一般質問

12月12日に行った一般質問には、3人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたどしました。質問順に、各議員の質問項目を紹介します。

●小西啓議員

1. 税及び公共料金の収納状況について

●畑武志議員

1. 和東町の地域医療の今後について

●岡本正意議員

1. 介護保険の改定について
2. 災害対策について
3. シルバー人材センターの創設について
4. 子育て世帯への経済的支援の充実を

一般質問は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。詳細は、後日ホームページに掲載する議事録でご確認ください。



問
滞納者へ積極的な
納税相談を行うべきでは

答
納税しやすすい
環境づくりにも努める



小西 啓 議員

答 建設事業課長
水道料金は平成32年に料
金改定を想定。滞納額は平
成27年度で1362万8
13円。平成28年度で、1
448万5466円と年
約100万円の増加。課員
一丸となって徴収努力す
る。

して責任を持ってやってい
く。
**固定資産税の超過税率へ
の考えは。**

問
町では昭和41年頃から固
定資産税に超過税率0.1%を
適用して1.5%としているが
今後の考えは。

答 町長

昭和28年の水害後に、財
政再建を図る手段として超
過税率を進めた。財政は一
旦は戻ったが、その後も非
常に厳しい。見直しは手付
かずだが一定の時期にと考
える。

問
滞納額は、減っていか
なと積極的に滞納問題に取り
組んでいるとは言えない。

答 建設事業課長

滞納者人数では横ばい。
使用実態を調査して問題解
決に努める。

問
財産がありながら納付し
ない者には厳正な滞納処分
を。また生活困窮者には、
十分な納税相談で対応を。

答 町長

滞納者一人一人の状況を
把握して相談に乗ってい
く。国も自治体も税金で成
り立っている。和東町のま
ちづくりを進めるために
も、職員全員が職務に専念

問
少ない税収の中で、小さ
い投資で最大限の効果を上
げるためには。

答 町長

人口減や少子高齢化が続
く中で、時代の流れや将来
に合わせたまちづくりをし
ていく。また、目的意識を
持って地域づくりをしてい
く。

問

私が視察した岡山県笠岡
市では、市長自らが先頭に
立って滞納処理をされてい
るが、和東町でも町長・副
町長が先頭に立ってやって
いく考えはあるのか。

答 町長

先進事例を参考に、収納
率を高めて事業を充実させ
ていく。収められるのに収
めない方には毅然として対
応していく。町長・副町長
が先頭に立ち、税の不公平
感がなくなるように努め
る。

問

水道料金値上げの前に、
水道料金の滞納処理を。

答 税住民課長

税務係を中心に、コンビ
ニ納付の検討など納税しや
すい環境づくりを協議して
いる。

答 福祉課長

課内で割り当てを決め、
滞納者の生活状況を把握
し、職員複数名で定期的な
訪問をしている。

答 建設事業課長

毎月の課内会議で、滞納
状況を確認し職員複数名で
訪問をしている。また、小
さな町なので、窓口等で声
をかけ指導している。

答 人権啓発課長

貸付金の借受人と面接や
家庭訪問を行い定期的に支
払ってもらっている。

問

税及び公共料金の過年度
分の滞納総額と総件数は。

答 副町長

平成26年度は、総額1
億3348万5944円、
総件数で867件。

平成27年度は、総額1
億511万2548円、総
件数で888件。

平成28年度は、総額1
億568万3537円、総
件数で869件。

件数も800件を超え、
税及び公共料金の公平さか
ら見ると大変厳しい状況。

問

滞納者への積極的な納税
相談等の取り組み状況は。

問

総合保健福祉センターはいつできるか

答

平成30年度内に具体的な計画を進める

和東町国民健康保健診療所は、昭和20年8月無医村であった旧中和東村、役場の一室に開設され、昭和22年8月に現在の地に木造平屋建ての診療所を新築した。

昭和23年10月に旧東和東村、中和東村、西和東村3村の組合立直営診療所となり昭和39年4月に、国保制度の創設に伴い診療と健康増進疾病予防に、健康管理の中心として運営され、昭和41年9月に現在の建物に建てかえられた。
町民からは、国民健康保険診療所と呼ぶ一方、健やかな民の館「健民館」の名で広く親しまれている歴史があり、住民の健康管理の

中心として運営されてきた診療所ではありますが、発足当時の人口は約7800人で現在の人口は4000人と、減少と共に年々きびしくなっている。

問

和東町国保診療の医師薬剤師の雇用はどの様にされるのか。

答 町長

診療所の医師は1名で職員採用等の条例で平成28年4月から2年間の任期つき職員として任用している。さらに3年間の任期更新が可能となっていることから、引き続きお願いしている。

薬剤師は平成28年度で定



畑 武志 議員

年となったが高度の知識技能経験を必要することから、来年度も任用させていただく。

問

地域医療を充実させるために、平成28年度より山城総合医療センターから、勤務支援をつけているが、更なる充実を考えているのか。

答 町長

毎月第2木曜日、第3金曜日に医師の派遣を受けている。更に1年間支援を受けていきたい。

問

人口4000人を下回り診療所の運営はきびしくな

ることから、地域医療を維持していく方策は。

答 町長

診療所は、本町の重要な医療施設であり、住民が安心してくらせる町として、診察・保健予防、福祉の介護関係の連携に寄与していく。

問

第4次総合計画に掲げられている総合保健福祉センターの完成年度、場所の検討は。

答 町長

地域医療体制一体化のため総合福祉センターの整備を有識者、住民の協力を得て建設に向け平成30年度内に具体的な計画を進める。

問

総合保健福祉センターの規模は。

答 福祉課長

国民健康保険診療所・社会福祉センター・老人福祉センターの機能を有し、集約化した施設を検討している。

問

センター建設に係る財源は。

答 福祉課長

社会資本整備総合交付金と地域福祉基金2億4200万円を積み立てており、活用し、また過疎債も充たさせていく計画です。



地域医療の中心である国民健康保険診療所

問
4月からの介護保険料
値下げ検討を

答
値上げの見通し
値下げの検討は難しい



岡本 正意 議員

問
4月からの保険料の見通しは？

答 町長
基準額で月250円程度の値上げになる。

し適正なサービス提供が行われると考える。

答 福祉課長
必要なサービスであれば認められる。

問
今でも高額であり値下げこそ検討を。

答 町長
サービス利用が増える見込みもあり難しい。

問
独自の保険料、利用料の減免制度の整備を。

答 町長
独自の減免は考えていない。

問
訪問介護（生活援助）の利用制限に反対し、実態に合った対応を。

答 町長
サービスの適正化の面で理解できる。専門家が検証

問
災害時のトイレ確保を

の設置を。

答 町長
重要なものと考え、和東小学校での整備を検討している。

問
ハザードマップの「見える化」、避難所への誘導表示の改善を。

答 総務課長
浸水の深さや避難所等の情報を地域に表示し防災意識の向上やスムーズな避難につなげる「まるごとまちごとハザードマップ」の作成に取り組む。

問
早期にシルバー人材センター開設を

シルバー人材センターの開設見通しは。

答 町長
相楽東部未来づくりセンターで設置に向けて努力している。

問
来年度からの稼働へ早期開設を。

答 町長
年度当初からは難しい。

問
来年度途中か遅くとも19年度には稼働してほしいが。

答 町長
早急に準備を進めていきたい。

問
子育て支援の充実を

18歳までの医療費無料化の具体的な時期や内容は。

答 町長
4月から実施し、これまでと同様に窓口負担なしで受診できる。高校生かどうかは問わない。

問
インフルエンザ予防接種への補助を、小中学生にも拡充を。

答 町長
引き続き現行制度で実施したい。

問
高校生通学定期代補助を全額補助に。

答 町長
重要な課題であり、組みの具現化を進めている。

問
駅に近い石寺でも重い負担であり、そこに合わすではなく、思い切った改善を求める。

答 町長
町内での格差是正など何がどこまで可能か検討を指示している。



災害用マンホールトイレ
(長岡京市)

総務厚生常任委員会

**府立大学と協定し
和東町史編さんに取り組む**

委員長 竹内きみ代

本委員会は、12月1日に平成29年度の事業の進捗状況を中心に事務調査を行いました。

初めに堀町長から、11月4・5日開催の茶源郷祭りには1万1000人の方に来場いただいた。また、地域社会の発展と学生が地域で学ぶ機会を充実し、実践的な人材育成を推進するため京都府立大学と連携協力包括協定書を締結し、その中で和東町史の編さん事業に取り組んで行きたいと挨拶があった。

各課の進捗状況で総務課では、各区から要望の交通安全灯7基、カーブミラー9基の工事は完了した。今年度新規事業の交通安全灯LED化工事、器具補修等の補助金について7区から申請があり今後支給決定していく。大規模災害発生時

の対応手順を定めた計画書の策定業務委託を公募型プロポーザルにより契約し3月末に完了予定である。

地域力推進課では、移住促進について湯船区が特区に指定されているが他の区においても年内に協議会を立ち上げ2月に特区申請を計画している。空き家バンクについては、府の宅建協会と調整し協定を結ぶ方向で考えている。サテライトオフィスの誘致に向け体験交流センター改修工事は入札を終え3月からオープン

の予定で進めている。茶畑ビューイングイベントは、11月末現在で3797人来ていたとき、ゴルフカーには402人乗車された。このことは、多くの新聞社やテレビ報道の効果で来場者も増え注目を浴びている。これを機にさらなる町の発展

に繋げたい。

福祉課では、10月末の要介護認定者は337人で昨年度より19人増加、在宅サービス受給者も141人で、昨年度より18人増加している。

委員からは、台風21号の被害状況や避難準備情報の判断基準について、地域住民による道路補修などを補助する生業景観整備支援事業について、光ボックスの現状や録画再生時の映像の編集について、インフルエンザ予防接種のワクチン不足による対応など多くの意見が出された。午後からは、開催中であった茶畑ビューイングの茶畑ハウス、ビューポイントなどを視察し現地調査を終えました。



新しい町史の編集始まる

一部事務組合議会報告

相楽郡広域事務組合議会

第2回定例会が11月27日に開催された。公平委員会委員の選任について、井澤孝子氏が再任されました。その後、平成28年度決算認定等3議案が審議され、一般会計決算認定では歳入総額3億5561万円、歳出総額3億5343万円、差引額217万円の黒字決算、相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計ともに全会一致で認定されました。相楽郡広域事務組合分担金条例の一部を改正する条例についても全会一致で可決されました。

相楽中部消防組合議会

第2回定例会が11月27日に開催された。最初に、河井管理者から救急救命士養成状況、新規職員採用、消防施設整備、九州北部豪雨に対する災害状況、今後の減災・防災等について報告がありました。

平成28年度決算認定では、一般会計歳入総額14億1671万円、歳出総額13億8354万円、差引額3317万円の黒字決算で全会賛成で認定。その後、29年度一般会計補正予算では、1710万円を増額し歳入歳出それぞれ14億3470万円にするもので審議の結果賛成全員で可決されました。

産業常任委員会

台風による被災現場
迅速な対応を

委員長 吉田哲也

初めに、堀町長の挨拶の後、奥田副町長から本年度の予算執行状況について説明があり、続いて、農村振興課長、建設事業課長から所管事務の進捗状況について報告がありました。

農村振興課関係では、青年就農給付金事業内容はこの間に、農業を始められて5年間を期限に低所得者に給付するもので、現在、個人への給付4人と1組の夫婦、計6人が対象となっている。

天空カフェの周辺を含めた整備状況はこの間に、天空カフェ内にクーラーを設置した。天空カフェにのぼる階段の手すりについては、現時点では設置予定はない。

野生鳥獣被害対策臨時職員の雇用内容はこの間に、

猟友会の方に、サルに発信機をつけ、動態調査をしていただいている。

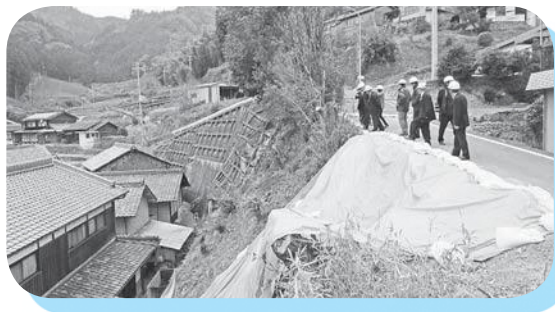
建設事業課関係では、町道山口線拡幅工事は、現在約60%完成している。31年度までに事業を完成する予定で京都府とも協議し、進めている。

10月の台風被害の件数と状況はこの間に、農業災害で水路が1件、農道が3件、農地が4件、公共施設災害で道路が6件、河川が2件、合計16件の被災箇所となった。現在、応急的に土砂の排除や迂回路等に対応している。今後、災害査定を受けて、工事発注の予定で進めていくとのことでした。

門前橋・祝橋整備事業の内容はこの間に、今年度は門前橋の落橋工事を行い、

祝橋については再度設計の見直しを行い、来年度以降、事業に取り組み予定である。

午後からは、台風による被災現場である石寺、白栖、南地内を現地調査し、建設事業課長から説明を受けました。



白栖地内被災現場



石寺地内被災現場

一部事務組合・広域連合議会報告

山城病院組合議会

第2回定例会が10月30日に京都山城総合医療センター会議室で開催されました。

河井規子管理者より諸般の報告があり、医師確保の取り組みや平成30年度より基幹型臨床研修病院の指定を受けたことに伴う初期研修医の受け入れ、新専門医制度における後期研修医の受け入れ準備を進めている。

一般質問は、議員2人が質問されました。又、損害賠償請求事件における専決処分承認が1件、代表監査委員の同意が1件、平成28年度国民健康保険山城病院組合病院事業会計及び介護老人保健施設事業会計決算認定が2件、平成29年度補正予算が1件、5議案全て、全員賛成により可決されました。

相楽東部広域連合議会

第3回定例会は、12月7日午前9時30分から南山城村議場において開催されました。

開会宣言の後、会期の決定、閉会中の委員会報告があり、3名の一般質問が行われ、新学習指導要領に対応した連合教育の取り組みについてなど質問されました。又、平成28年度相楽東部広域連合一般会計決算認定については、賛成多数で認定されました。

平成29年度相楽東部広域連合一般会計補正予算(第2号)について、歳入歳出それぞれ128万5000円を追加し、主な補正内容は、和東町の町史編さん事業に係る調査費用や編さん室への電話機の設置費用、和東町内の文化財修繕に伴う補助金の追加で全員賛成で可決されました。

議員
研修

昨年11月15日～16日にかけ島根県雲南市と浜田市を訪れ、地域活性化による6次産業の取組みやPFI（官民協働）を活用した社会復帰を促進するセンターの取組み等の研修を行いました。

奥出雲葡萄園

雲南市は平成16年に大原郡大東町、加茂町、木次町、飯石郡三刀屋町、掛合町、吉田村の6町村が新設合併で発足した。今回の研修地は木次町にある有限会社奥出雲葡萄園の6次産業化の取組みについて研修。同社は昭和60年に木次町内の4名で有機ブドウの栽培を始めた経緯や品質重視にこだわった国産原材料100%のワイン生産をもとに、ブドウ栽培から醸造、



奥出雲葡萄園

販売まで一貫したワインづくりを行っている。また、ワインの製造だけでなくレストランやショップ、ギャラリー等を併設している。コミュニケーションの場としてゲストハウスを備え収穫祭などのイベントも開催するなど交流人口の増加と地域の雇用確保にも貢献していた。これまで三



島根あさひ社会復帰促進センター

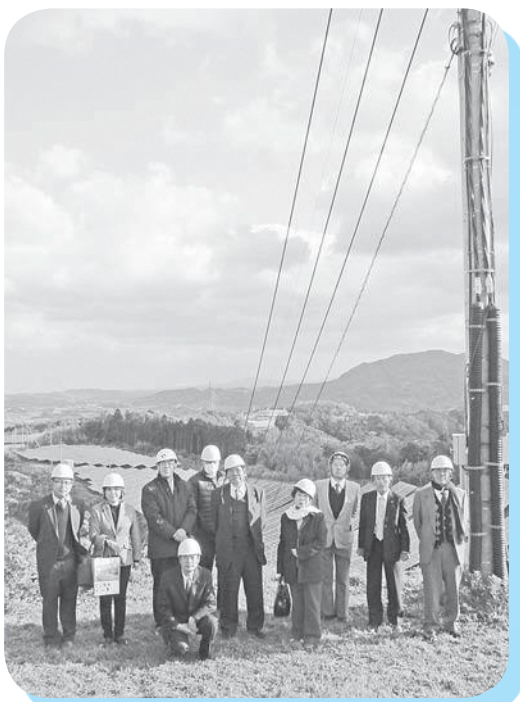
度にわたる農林水産省の支援を受け、また経済産業省の地域産業資源活用事業などにより栽培面積や生産、雇用など増加の効果が表れているとの説明を受けました。

島根あさひ社会復帰促進センター

浜田市にある島根あさひ

ひ社会復帰促進センターは、PFI手法を活用し、施設の設計や建築及び運営の一部を民間事業者に委託して運営されている刑事施設です。運営業務については、構造改革特区制度を活用することにより、公権力の行使に関わる業務も含め幅広く民間に委託され、また、施設内に設けられた受刑者向けの診療所の管理を島根県に委託しているとの説明を受けました。

施設見学・浜田太陽光発電所



浜田太陽光発電所

閉鎖されたゴルフ場の跡地約25万㎡に地形を活かして設置されたソーラーパネルを見学しました。いずれの施設も多岐にわたり国の施策や支援を受けて取組んでいる実態を研修させていただきました。

まちの “元気”を 訪ねて

“気持ちも若返り張り合いができ、 毎日が楽しい”

「(白栖 丸田さん夫婦)」

昨年4月に農家民宿「はがくれ」をオープンし、観光客を受け入れておられるお二人にお話を伺いました。

Q 農家民宿をはじめられたきっかけは？

A 仕事を定年退職して、以前からやりたかった飲食店を始めた。約2年前に農家民泊の声をかけてもらい、受け入れをさせていただいた。たらとも楽しかった。外国人の方は言葉も通じないけれどジェスチャーなどで交流し喜んでいただいた。民泊を始めるようになり、気持ちも若返り張り合いがでるようになり、民泊同様に民宿も始めるきっかけとなった。また飲食店もやっていたのでやりやすかった。

Q 開業されて以来、現在まで何人の方を受け入れられましたか？

A 民宿を始めて今まで4組、6人を受け入れた。シンガポール、埼玉、和歌山から来ていただいた。

Q 民宿を始めて、良かったことは？

A 田舎の良さを求めて和東に来られ、「ゆつくりさせてもらった」と喜んで帰っていた。夏には浴衣を着せてあげて一緒に花火をしたり、お菓子を作ったりして楽しんだ。後日お礼の手紙をいただきうれしく、また受け入れようと言う気持ちになる。

Q 民宿を始めて、苦労されたことは？

A 民宿は、民泊に比べて最初の手続きが大変だった。外国人の方の受け入れは、文化も違うので食事の面など苦労した。英語も勉強しようとしてみたが難しくなかなか覚えられない。

Q 今後、やってみたいことは？

A 今は飲食店をやっているのですが、やめたらもしばらくは、飲食店を続けながら出来る範囲で民宿をやっていききたい。これから民泊や民宿が増えると和東町に来ていただく方も増え、和東の魅力がたくさんの人に知ってもらえることができると思います。また他の民宿とも連携して農業体験などを一緒に出来るような仕組みも作っていただきたい。



(取材 竹内 きみ代)

編集後記

新しい年を迎え、早1ヶ月が経ちました。まだまだ寒い日が続いておりませんが、いかがお過ごしでしょうか。

昨年11月に開催された茶源郷まつりでは、来場者1万人を超え、11月から12月に開催されたお茶の京都博「茶畑ビューイング2017」のイベントでは、約4000人が来場されました。マスコミ関係にもたくさん取り上げていただき、和東町の名声を全国に発信された年でもありました。

議会においては、7年前のアナログ放送終了と同時に議会中継も終了していましたが、昨年6月議会より茶源郷行政情報配信システム(光ボックス)を通じて議会中継を生放送及び録画映像にて配信しています。より議会を身近に感じていただけるものと思っております。

今回の議会だよりは、12月議会で審議された内容となっております。これからもみなさんに読んでいただける充実した議会だよりの発行を目指してまいります。

(編集委員一同)

広報編集委員会

- 委員長 竹内 きみ代
- 副委員長 吉田 哲也
- 委員 藤井 清隆
- 委員 村山 一彦
- 委員 小西 啓

第1回定例会は、3月8日開催予定。傍聴にお越しく下さい。